



くらしと産業を支える、良質で豊富な水の宝庫です。

美しい山々を源とする北陸の河川。その豊富な「水の恵み」は、古くから北陸の

産業や人々の潤いあるくらしを支えてきました。



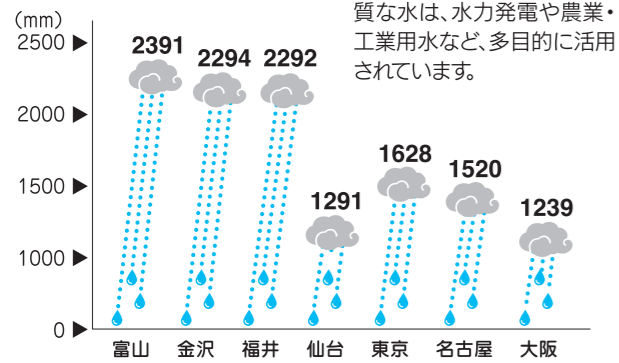
豊かな自然に恵まれた北陸は名水の宝庫。

環境省選定の名水百選に、北陸3県だけで10件が選ばれています。良質な水を求めて北陸に進出した先端企業からも高い評価を得ています。

雪の心配はほとんどありません。

北陸といえば雪国のイメージが強いですが、実際には、積雪は意外なほど少なく、冬期間の大半は積雪20cm未満。また、北陸自動車道をはじめとする主要道路は、万全の除雪体制と、消雪・融雪装置の普及・整備によってほとんど無雪化されるため、生活や産業への影響は皆無と言っても過言ではありません。

年間降水量の比較

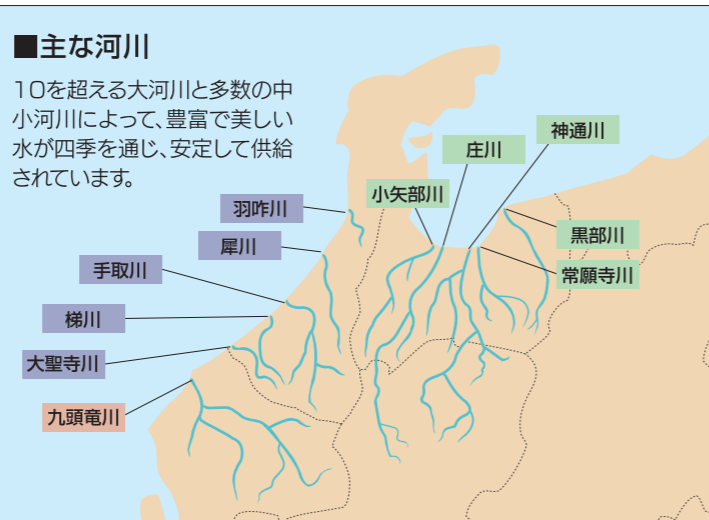


全国でも群を抜く豊富で良質な水は、水力発電や農業・工業用水など、多目的に活用されています。

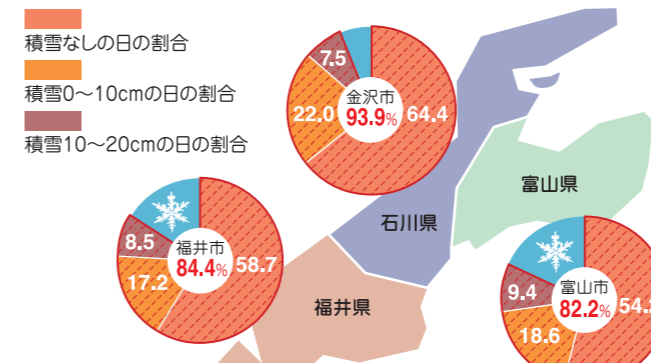
平成13年～平成22年までの10年平均値 気象庁「気象統計情報」

主な河川

10を超える大河川と多数の中小河川によって、豊富で美しい水が四季を通じ、安定して供給されています。



冬期間(12～3月)の積雪20cm未満の日の占める割合



平成13年～平成22年までの10年平均値 気象庁「気象統計情報」

主要道路の除雪率

	富山県	石川県	福井県
北陸自動車道	100.0	100.0	100.0
直轄国道 (指定区間)	100.0	100.0	100.0
補助国道 (指定区間外)	98.0	98.7	95.7
主要地方道	91.9	95.1	96.6
一般県道	92.7	95.7	99.5

※各県調べ

(%)

雪に強い北陸自動車道は、雪の問題を克服した北陸の象徴です。



北陸の雪はなぜ早くとける？

北陸の雪は「ベタ雪」で、とけやすいのが特徴です。大陸からやってくる寒気が、日本海を通る対馬暖流からの大量の水蒸気と熱を吸収し、水分をたっぷり含んだ雪雲を作り、雪が降ります。しかし少しでも気温が上がると、水分の多い雪は雨に変わり積もった雪も早くとけるのです。

